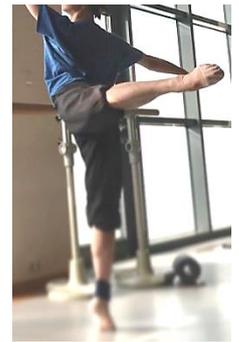


スポーツ外来開設のお知らせ



この度、2019年12月よりスポーツ外来(第1金曜日午後)を開設することとなりました。スポーツ選手にとって体の故障は切っても切り離すことができない重要な問題です。スポーツには瞬間的な外力で起こるスポーツ外傷(骨折、脱臼、靭帯断裂など)と、同じ動作を繰り返すことで負担が蓄積し生じるスポーツ障害(疲労骨折や腱炎など)があります。痛みを我慢してスポーツを続けているとパフォーマンスの低下のみならず、将来的に痛みや変形を残してしまう危険性があります。痛みなど気になることがありましたら、是非スポーツ外来を受診しご相談ください。

スポーツ外傷や障害の治療に際しては原則として保存療法(リハビリなど)を行います。すでに保存療法をされている、もしくは保存療法の効果がない場合、手術療法を提案させていただきます。手術療法は関節鏡手術など低侵襲な手法を選択し早期スポーツ復帰を計画します。慢性的なスポーツ障害では、その原因が複雑なことが多く、局所のみを治療しても改善しないことがあります。傷害の部位のみに注目するのではなく、全身的なアプローチを行い、痛みの原因となる部分を探ってまいります。治療を通して、全身の機能やパフォーマンスを向上できるようにすることがわれわれの目標です。下肢・上肢・脊椎など幅広く対応させていただきますが、特に頻度の高い対象疾患を以下に提示します。

対象疾患

●膝関節(膝の痛み)

靭帯損傷(前十字靭帯損傷、内外側側副靭帯損傷)、半月板損傷、ジャンパー膝(膝蓋腱炎)、膝蓋骨脱臼、離断性骨軟骨炎など

●足関節・足(足の痛み)

足関節後方インピンジメント症候群、前方インピンジメント症候群、靭帯損傷(外側靭帯損傷、三角靭帯損傷、リスフラン靭帯損傷)、アキレス腱断裂、疲労骨折(中足骨、舟状骨、脛腓骨)、距骨骨軟骨損傷など

●肩、肘関節、手(肩、肘、手の痛み)

腱板断裂、インピンジメント症候群、上腕二頭筋長頭腱炎、肩関節不安定症(肩関節脱臼など)、投球障害肩、肩関節周囲炎、野球肘(離断性骨軟骨炎・内側側副靭帯損傷)、テニス肘(上腕骨外側上顆炎)、ゴルフ肘(上腕骨内側上顆炎)、遠位橈尺関節障害、手指の腱鞘炎・関節症・脱臼・骨折など

●脊椎(せぼねの痛み)

腰椎椎間板ヘルニア、腰椎椎間板症、腰椎分離症、腰椎分離すべり症、スポーツ外傷による脊髄損傷など

代表的な症例: バレエダンサーの足関節後方インピンジメント症候群



三角骨障害



三角骨による圧迫



三角骨摘出、長母趾屈筋腱鞘を開放



内視鏡下に三角骨を摘出後